

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01363厚沢部町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01363厚沢部町	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	少子高齢化等の原因により地域のイベントが減少することで多世代交流の機会が減少している。体験教室等のイベント開催が少なくなり、都市部の子供と比べて学習機会に格差が生まれている。	教育委員会が地域の指導者に委託する形で体験学習イベントを実施してきた。募集定員をほぼ満たす数の参加者があるが、新規参加者は少ない傾向にある。	(1)休日に体験学習イベントとして陶芸教室と川釣り体験を開催する。 (2)開催日時等を検討し、地域の人々が参加しやすいように設定する。	地域に体験学習の機会を提供するとともに、指導者の活躍の場を用意し、スタッフや参加者同士の多世代交流を促すことで地域の活性化を図る。	募集人数に対する参加者の割合。	88	%	80	100	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 陶芸教室(募集15人・参加者10人)、川釣り体験(募集20人・参加者25人)を実施し目標としていた参加者を確保することができた。両イベント共に地域の住民達が講師となり、参加した子どもとコミュニケーションを取りながら技術指導を行うことで地域における多世代交流に繋がった。イベントは規模や参加者数を維持しながら開催できており、今後も継続することで地域文化の伝承や多世代交流を促し、アウトカムである地域における体験学習の機会の提供と地域の活性化を図る。 高齢化による指導者の不足が将来的な課題である。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。